

新発田市 令和4年度 第7回定例記者会見

1 日 時 令和4年10月3日(月)午前 11 時00分～

2 場 所 ヨリネスしばた 501、502 会議室

3 内 容

【市長発表項目】

- 新発田市シェアオフィス「キネス天王」オープン
- しばた大物産展 ～ガンバロー！新発田～ 開催
- シバタいちじくフェアの開催
- 農業・園芸体験事業、e スポーツ体験事業の実施
- T.LEAGUE シーズン公式戦が新発田にやってくる！

【その他】

- 市島邸企画展
「もう一つの市島邸 ～東京市嶋邸関連資料受贈記念展示～」
- 「花嫁人形」合唱コンクール新潟大会
- 新発田市消防団総合消防訓練
- 「関係人口」入門セミナー&ワークショップ みんなでつくる しばたのみらい
- 新発田市美術展覧会(市展)と小・中学校美術展(市ジュニア展)
- 秋季企画展「五十公野から赤谷への道」

あいさつ

○秋晴れのいい天気が続いているようであります。国の方でも「GoTo トラベル」が 11 日から始まるということです。「使っ得」のバージョンアップ版のようなもので、観光地を持っている自治体にとっては、待ちに待ったというところです。

○ただ、前の「GoTo トラベル」のような状況を醸し出せるか、実は心配してい

るところです。コロナによって約 2 年半、大変な戦いをしているわけですが、その都度「GoTo トラベル」「使っ得」「今・得」いろいろな割引を使って、少しでも観光客に動いてもらおうということでやってきましたけれど、県内の皆さん方も「2・3 回月岡に行ったよ」という方々もいらっしゃるわけで、果たして 10 月 11 日から最高で 1 万 1000 円の割引をやったからといって、また月岡温泉に来てもらえるかはちょっと心配しているところでもあります。

○今までは、隣県まではやっていましたけれども、今度は全国一斉ということですが。ただ、全国からおいでいただく皆さん方は、3 回目接種が条件になっているわけで、接種率は首都圏ですと大体 63~65%だろうと思います。ある程度の人数で動いた場合、3 回目接種済みの方は恩恵を受けることができるけれど、2 回の方は受けられないということになると、果たして一つの団体として動いていただけるのか、自分達で制約のないところを選択するというのも多いのではないかと心配をしているところです。しかし、それは心配であって、おいでいただけることを前提に準備を進めたいと思います。

○特に私が望んでいるのはインバウンドです。私ども「物のアウトバウンド、人のインバウンド」ということで、他市に先駆けてこの取組をさせていただきました。ですから、コロナ前は月岡温泉に約 1 万人を超える皆さん方に来ていただきました。主に台湾、韓国ということでしたけれども、それがコロナによって全くダメになったとこういうことです。花角知事も一生懸命インバウンドを含めて、新潟空港の開港に向けて努力していただいていることは、報道で知っていますけれども、まだ国のハードルが高いようで、この秋にやっと台湾からチャーター便が一便来るようであります。しかし、これはどちらかというインバウンドというよりは、佐渡の世界遺産の支援みたいなところが少し強いのかなと思っております。県も一生懸命やっていただいていますけれども、成果、結果に繋がっていないということ。私どもとしては何としてもインバウンドのところで早くやっていただきたい。そうすると、国内の皆さん方そして外国からの皆さん方で何とか回る。こんな皮算用をやっているところです。

それでは会見項目に従いまして説明をさせていただきます。

最初に、新発田市のシェアオフィス「キネス天王」のオープンについて

○令和 3 年 3 月に閉校しました旧天王小学校。この校舎を活用してシェアオフィス「キネス天王」を 10 月にオープンします。この施設は、単なる貸しオフィスではなくて、県外や市外から IT・DX 関連の先端技術を集約させること、そして新

発田出身の若者が新発田に戻り、新たに起業できるスペースとして、スタートアップ企業を育てていくことが大きな目的となっています。

○入居する最先端企業とこれから夢と希望を持って事業を始めるスタートアップ企業、経営や営業のノウハウを先輩企業からのアドバイスや支援いただくこと、そして行政も運営に積極的に関与し市内の事業者との間を取り持つていくことで、産業界全体に化学変化を起こしていきたいと考えています。そして、何よりも新発田から旅立っていった子どもたちが様々な知識や技術を身につけ、ふるさと新発田に戻ったときに、この「キネス天王」で起業してもらいたい。新発田の将来を担う子どもたちのために、この施設を改修しました。

○この施設には、長岡技術科学大学にも入居していただき、スマート農業推進の拠点としての活用も予定しています。当日は、長岡技術科学大学と入居企業によるロボットの実演や、小学生を対象とした科学体験教室を行います。ぜひ、子どもたちには、市内そして目の前にある先端技術に触れることで、それぞれが描く将来の夢の種を持ってもらい、この新発田でその種を芽吹かせ、大きく育てたいと思うきっかけになればと思っています。

次に、新発田大物産展の開催について

○新型コロナウイルス感染症が少しずつ落ち着きを見せ始めた矢先、今度は強烈な円安に伴う燃油高や物価高騰が消費者を直撃しています。これに伴い、市内のスーパーマーケットをはじめ、農産物直売所などの流通事業者やお菓子や加工品などの食品製造事業者の皆様には、原料価格の高騰と消費の減退のダブルパンチとなっております。

○このような中、「ガンバロー！新発田」をスローガンに、市内流通事業者、食品製造事業者が連携して、新発田の特産品・名産品などを集めた大物産展を10月14日(金)から23日(日)まで開催します。大手スーパーや小売店、直売所など19店舗が新発田の銘品・逸品を各店舗に集め、特産品のPRや消費の拡大に結びつけるためのイベントとなっております。

○日ごろはそれぞれライバルとしてしのぎを削る店舗同士が、このように一つの目的、趣旨に賛同いただき、イベントとして大物産展を開催することが、この物産展の大きな特徴であり、全国的にもあまり例がないものではないかと思っています。去年は、大成功に終わらせていただきましたので、今年もしっかりとやり

たいというふうに思っています。

次にシバタいちじくフェアの開催について

○味覚の秋・収穫の秋 真っ盛りを迎え、新発田の古くて新しい特産品、蓬萊柿、いちじくを使った「シバタいちじくフェア」を開催いたします。五十公野地区では、明治期初めから蓬萊柿と呼ばれる在来種のいちじくを栽培してまいりました。最盛期は 80ha、200 t を超える生産量を誇っていましたが、現在では4 ha、12 t にまで落ち込んでいます。

○近年、いちじくは栄養面に注目され、繊維質やミネラル、ビタミンが豊富なことから、若い女性を中心に人気のフルーツとなっています。当市でも古くから地元産蓬萊柿を使った和菓子が作られていましたが、この技術とノウハウを生かし、新たなスイーツや料理を創作することで、新発田の秋の名物にしようと、民間の皆様による「しばたいいちじくブランド化プロジェクト実行委員会」が昨年結成され、今年が 2 回目のいちじくフェアの開催となります。菓子店 16 店舗に加え、新たに飲食店 8 店舗も参加し、新発田産いちじくの美味しさをさらに引き立て、味わえるよう創意工夫された品々が出来上がりました。

○アスパラガス、新発田牛、越後姫、姫のてまりに続く新発田の秋を彩るブランドに育てていきたいと考えています。フェアの開催期間は 10 月 1 日(土)から 11 月 6 日(日)までとなりますので、この機会にぜひご賞味いただきたいと考えています。

○それでは「しばたいいちじくブランド化プロジェクト実行委員会」会長の金子様からいちじくフェアの PR をしていただきたいと思います。

【しばたいいちじくブランド化プロジェクト実行委員会会長 金子氏】

○新発田は蓬萊柿が採れる最北の地であるということで、この地域では蓬萊柿を非常に大事に育て活用してきました。今年も、菓子店のほかに料理店など全 24 店舗、56 種ぐらいでしょうか、種類が多くなっております。試食も用意していますので、皆さんご覧になって、食べていただきまして、この地域のいちじく、生で食べても、加工しても美味しいということ存分に味わって、宣伝していただければと思います。

○金子さんの方から新発田産いちじくにかける思いが伝わってきました。ぜひ取り上げていただいて、応援をしていただきたいと思います。

次に、農業園芸体験事業、eスポーツ体験事業の実施について

○健康長寿アクティブプランに掲げた高齢者の社会参加や生きがい作りの機会を提供するために、新たに二つの取組を実施します。

○一つ目は、県立新発田農業高等学校と連携して、同校の生徒を講師として招き、高齢者に農業・園芸体験をしていただく事業を実施します。同校が培ってきた全国に誇れる知識・経験、これらが高齢者の社会参加、生きがい作りに生かしていただいて、収穫した野菜の一部をフードバンクに寄付するなど、地域社会に還元できる要素も付け加えています。なお、農業高校内の農場を使用して事業を実施する計画がありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から、今年度は健康長寿アクティブ交流センターを会場に実施します。

○二つ目は、eスポーツ体験事業です。高齢者向け eスポーツの取組は、県内初の取組となり、この取組で高齢者の認知症予防、健康増進に加え、人との繋がりといった社会参加に繋げていきたいと思っています。この事業の運営には、敬和学園大学も参画し、学生たちがシニア層と触れ合うことで、高齢者の生きがい作りとまち作りについて、共に考える機会にしたいと思っていますところ。

○当市は他市に先駆けて、様々な介護予防事業に取り組んでおりますが、その成果として、令和 2 年度末から介護認定率が全国平均、県平均を下回っております。今回の e スポーツの取組は、認知症予防にも効果があると言われておりますので、脳活にどのような効果を発揮するのか検証して、さらなる介護予防に繋がることを期待しているところです。ご紹介した二つの事業については、今後、自主的な活動として広がりを見せることを期待していますが、まず今年度は、多くの方に体験していただき、社会参加する高齢者の裾野を広げ、健康長寿アクティブプランをさらに推進していきたいと考えています。

最後に、世界のトップ選手による卓球のリーグ戦、Tリーグ 2022-2023 シーズン公式戦の開催についてであります。

○2018 年に開幕した T リーグは、今シーズンで 5 シーズン目を迎えます。当初

は、これまでの卓球協会との縁もあり、スポーツツーリズム事業の一環として、世界ジュニア世界選手権の日本代表選考会など、卓球競技の国内トップレベルの大会や合宿を数多く誘致してきました。そのような当市の数年越しの実績が評価されて、この度、新潟県では初開催となるTリーグの誘致に繋がったことは、大変嬉しく思うと同時にやはり「継続は力なり」という言葉に尽きると感じています。

○試合は12月3日(土)と4日(日)の2日間、カルチャーセンターを会場に行われ、過去4シーズン連続で優勝している「日本生命レッドエルフ」をはじめ、「日本ペイント マレッツ」「九州アスティータ」という、昨シーズンの1～3位の女子チームが来訪されます。昨年の東京オリンピックで、水谷選手との混合ダブルスで金メダルを獲得した伊藤美誠選手も今シーズンから日本生命レッドエルフの一員としてTリーグに参戦しています。伊藤選手が来られるということになれば、東京オリンピック後、初めて当市を訪れる金メダリストになります。そして、伊藤選手以外にも昨年、当市で世界選手権日本代表の座を獲得した早田ひな選手など、現役の日本代表選手や海外トップレベルの選手が新発田に集結します。Tリーグは、今シーズンからパリオリンピック日本代表選手選考会選考ポイントの対象試合となっております。このことから、真剣勝負の戦いを観戦することができます。

○12月3日のチケットを購入した方限定になりますが、同日に元日本代表監督で、現在「日本生命レッドエルフ」の総監督でもある村上恭和氏とTリーガーによるジュニア選手および指導者を対象にした講習会の開催も決定しています。ぜひこの機会に多くの方々に会場に足を運んでいただき、新発田でTリーグを感じていただきたいと思います。